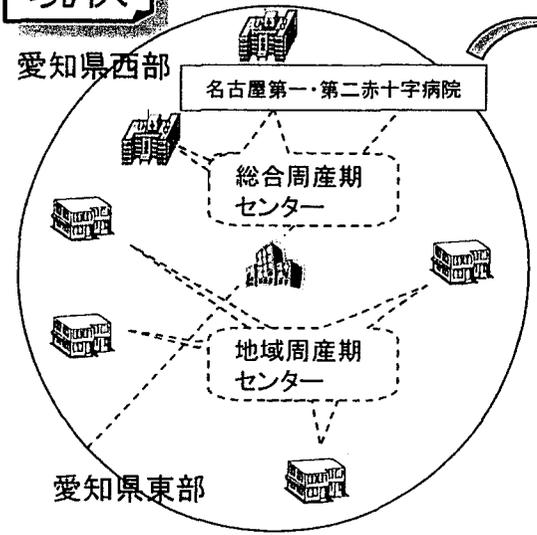
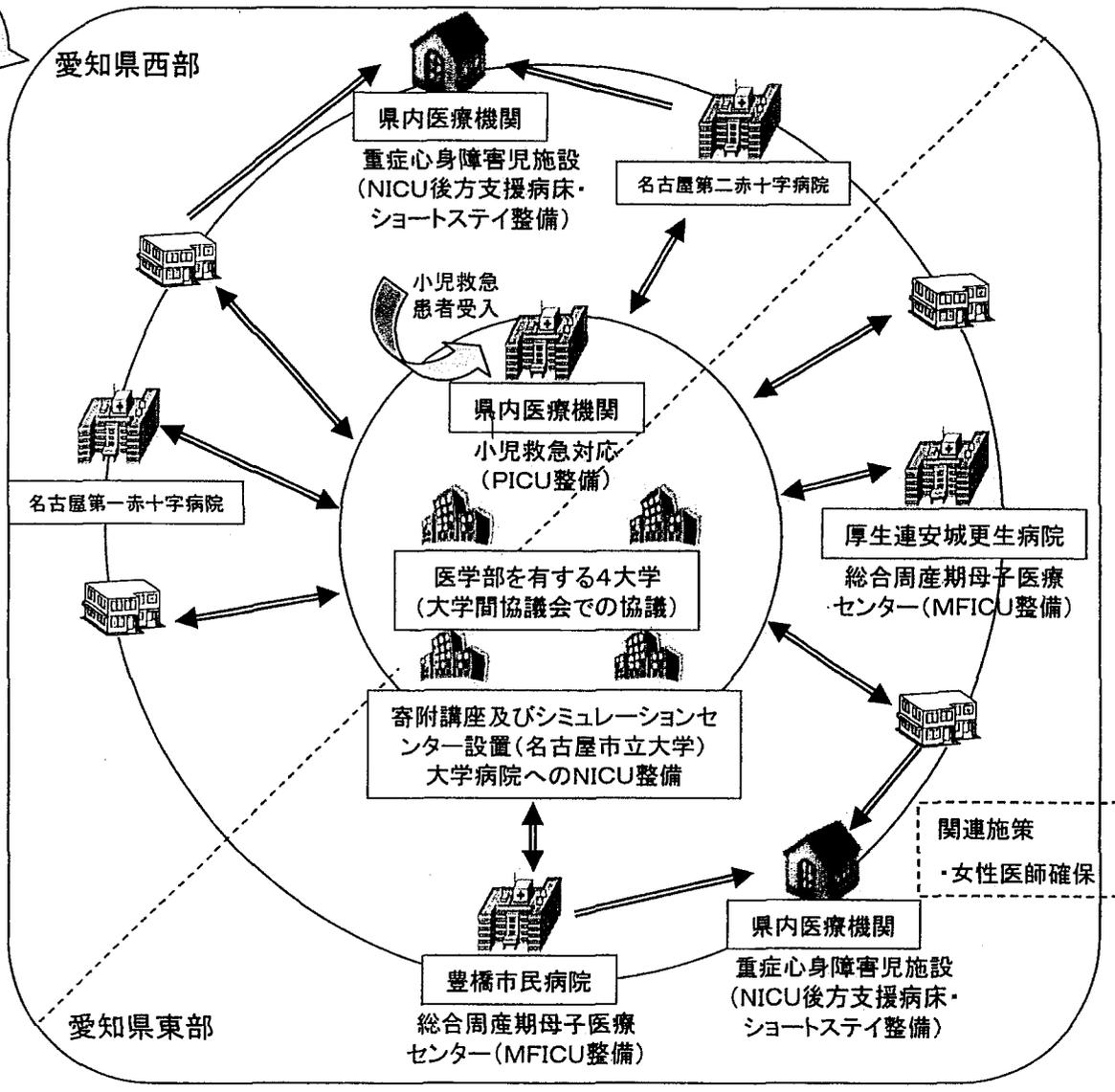


愛知県地域医療再生計画【全県対応(周産期医療&小児救急)】

現状

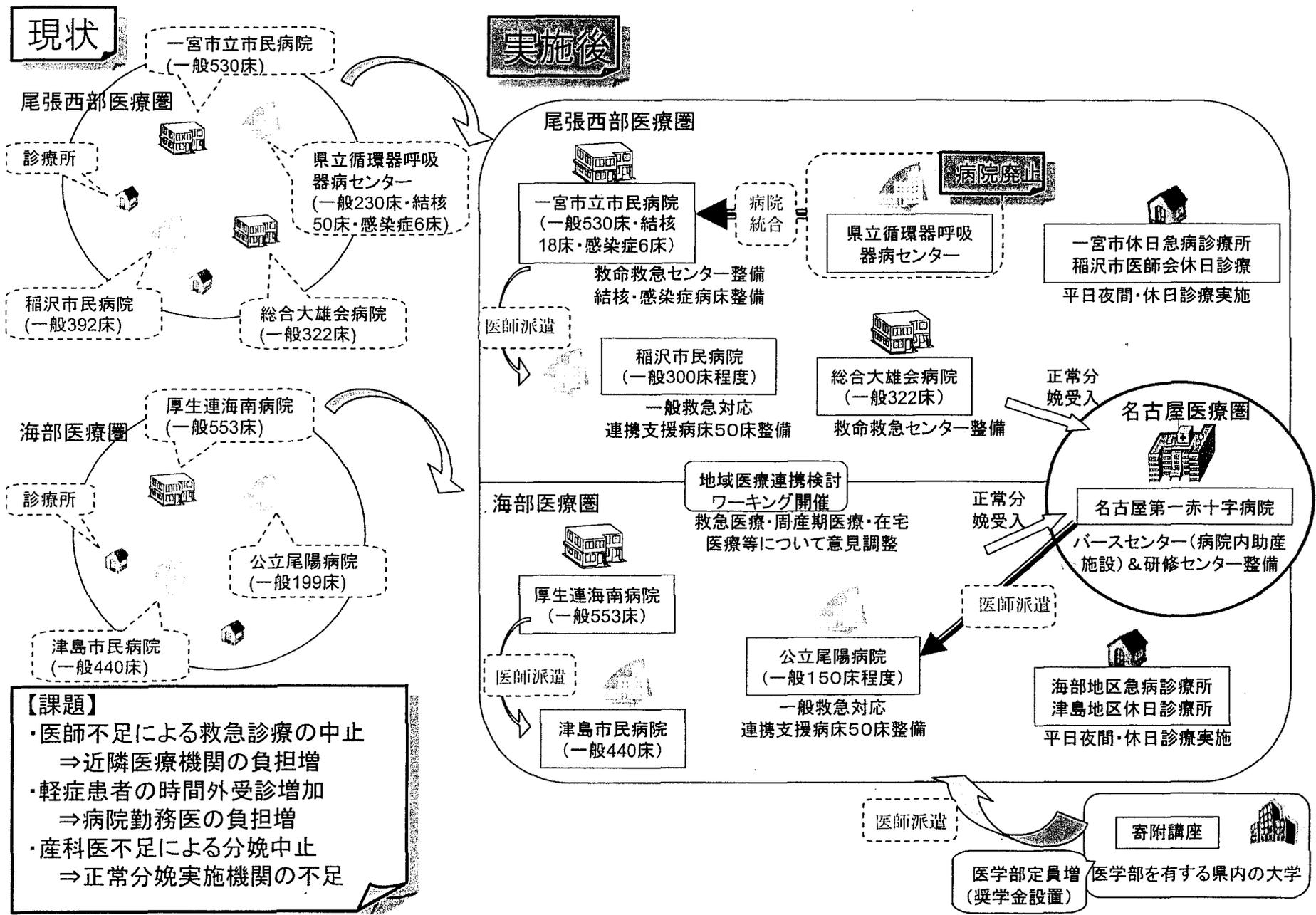


実施後



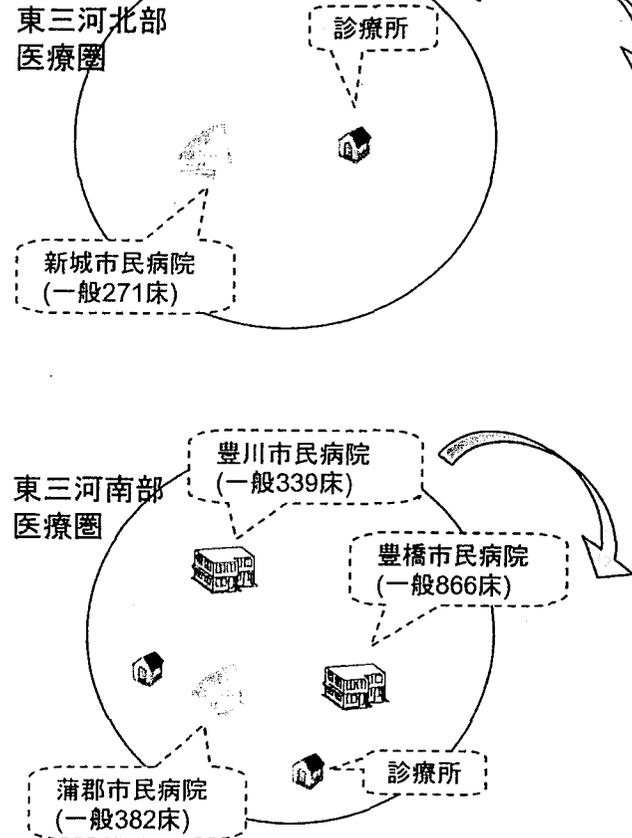
- 【課題】**
- ・小児科医師の不足
 - ・NICU (新生児集中治療室)の不足及び長期入院患者による新規受入の圧迫
 - ・MFICU(母体・胎児集中治療室)の不足
 - ・PICU(小児集中治療室)の不足

愛知県地域医療再生計画【尾張地域(救急医療及び周産期医療対策)】

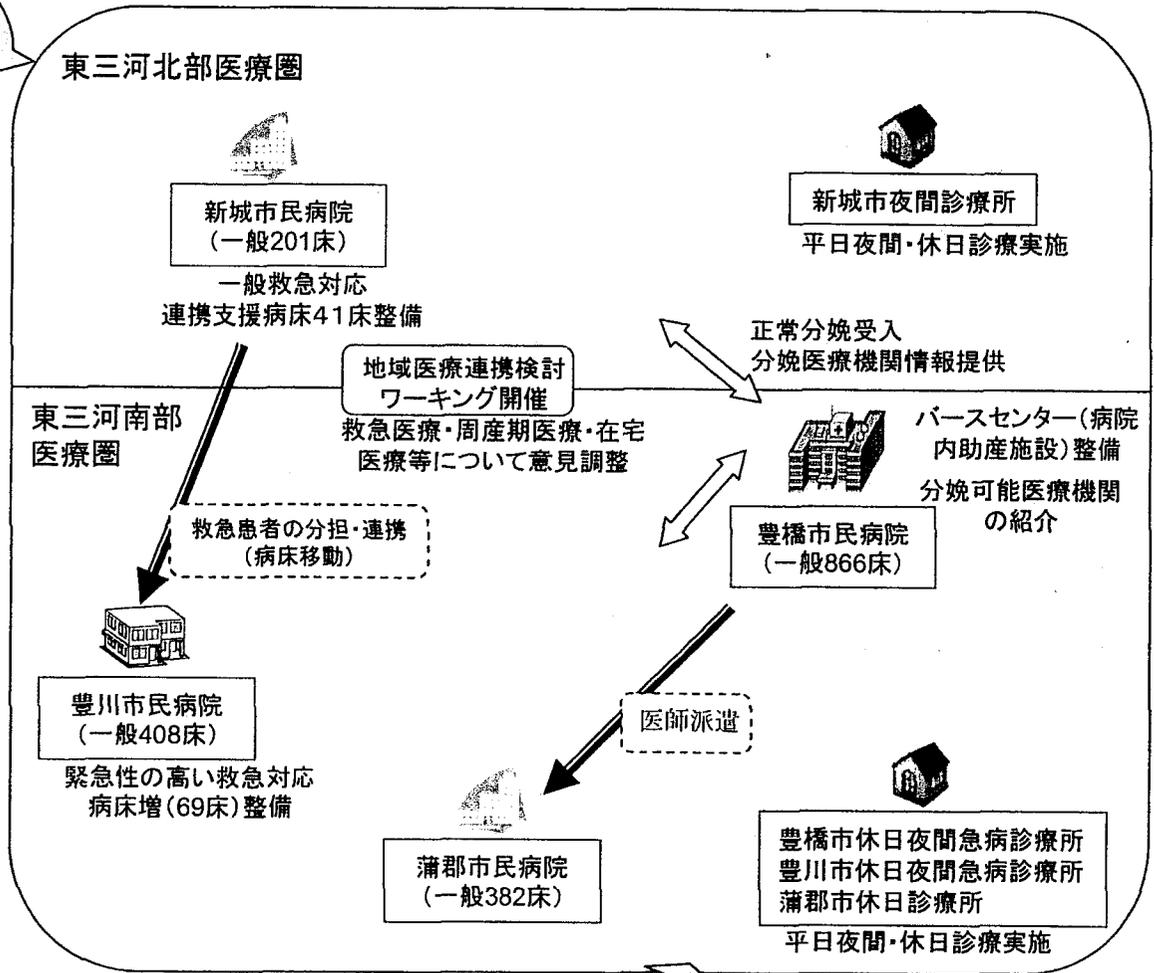


愛知県地域医療再生計画【東三河地域（救急医療及び周産期医療対策）】

現状



実施後



- 【課題】**
- ・医師不足による救急診療の中止
⇒近隣医療機関の負担増
 - ・軽症患者の時間外受診増加
⇒病院勤務医の負担増
 - ・産科医不足による分娩中止
⇒正常分娩実施機関の不足

- 医師派遣
- 寄附講座
- 医学部定員増(奨学金設置)
- 医学部を有する県内の大学

①県全体で取り組む事業 基金 22億円

主な課題1 : 医療従事者の確保

- 取組の例
- ・修学資金貸与制度(10.3億円)
 - ・県内臨床研修病院への支援(0.9億円)
 - ・地域医療に貢献する医師への支援(0.3億円)
 - ・三重大学医学部の定員増
 - ・三重大学への寄附講座の設置(0.8億円)
 - ・医師派遣による地域医療の支援(0.5億円)

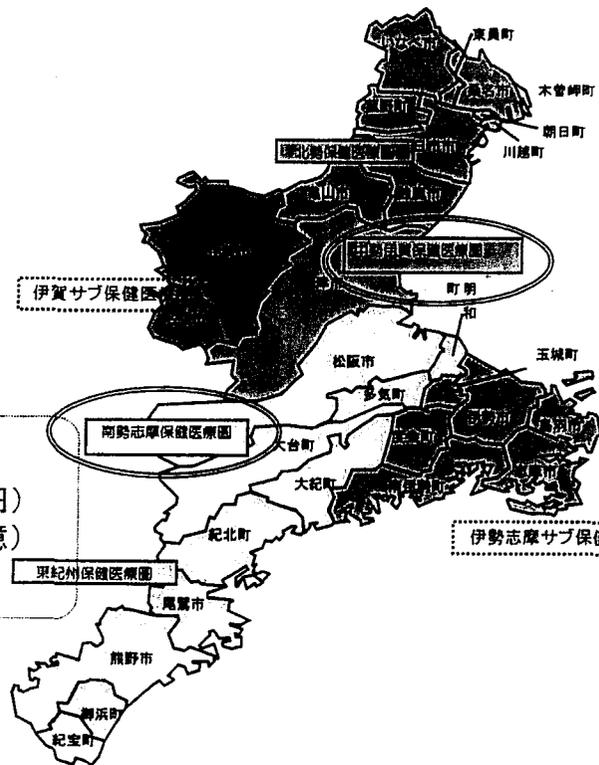
主な課題2 : 地域連携体制の構築

- 取組の例
- ・脳卒中診療に係る支援(1.0億円)
 - ・救急医療情報システムの再整備及び病院前救護体制の整備(4.6億円)

②二次医療圏単位で取り組む事業

中勢伊賀 基金 20億円

南勢志摩 基金 8億円



中勢伊賀地域における主な課題

- ・救急医療体制の充実
- ・小児医療体制の充実
- ・周産期医療体制の充実

南勢志摩地域における主な課題

- ・広域医療連携体制の充実
- ・中山間地域における医療の確保

取組の例

- ・本県独自のドクターヘリの導入(再掲)(2.3億円)
- ・報徳病院と大台厚生病院との再編等(4.7億)
- ・県南地域拠点病院への支援(3.5億円)

取組の例

- ・三重大学への救命救急センターの設置(2.6億円)
- ・本県独自のドクターヘリの導入(2.3億円)
- ・小児救急医療体制の充実(0.7億円)
- ・周産期医療体制の充実(0.6億円)

【伊賀サブ地域】

- ・二次救急医療体制の充実(12.6億円)

伊賀地域における地域医療体制の再構築

(中勢伊賀保健医療圏：救急・小児・周産期医療等の充実に向けて)

